

都道府県医師会  
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長  
釜 范 敏

武田/モデルナ社ワクチンの接種体制および、  
接種の候補となる接種施設の意向調査について

今般、武田/モデルナ社製新型コロナウイルスワクチン（以下「武田/モデルナ社ワクチン」）が承認され、その供給に当たっては管理・輸送方法等がファイザー社ワクチンと異なることから、既存の接種体制への影響を最小限にするべく、大規模接種会場における接種・職域における接種を軸に接種体制の構築が検討されているところです。

厚生労働省より、武田/モデルナ社ワクチンの接種体制について、各都道府県等衛生主管部（局）宛て別添の事務連絡がありましたので、ご連絡申し上げます。

また、大規模接種会場における接種・職域における接種以外の接種体制については、接種の状況等を踏まえつつ追って示されることとしており、令和3年5月24日付「武田/モデルナ社ワクチン接種の候補となる接種施設の意向調査について」をもって都道府県を対象に意向調査を実施することとしている旨、併せてご連絡申し上げます。意向調査の概要は下記の通りです。

貴会におかれましても、本件についてご了知の上、郡市区医師会および関係医療機関に対する情報提供についてご高配のほどお願い申し上げます。

記

1. 調査内容

- 1) 武田/モデルナ社ワクチンの接種を希望する接種施設
- 2) 接種施設の開設者
- 3) 当該医療機関が想定する接種規模
- 4) 当該医療機関が想定する接種実施期間
- 5) 低温冷凍庫（-20℃）の有無
- 6) 低温冷凍庫（-20℃）の配布希望の有無及び希望台数

2. 回答方法

6月11日（金）までに厚生労働省健康局健康課予防接種室へ登録すること。

3. 留意事項

- ・ 武田/モデルナ社ワクチンについては、100回接種分（10バイアル）を最小流単位として接種施設に納品され、当該接種施設において全て使用することとし、納品を受けた施設から他の施設への小分け配送はできないことを前提とすること。
- ・ ファイザー社ワクチンとの特性の違いや、ファイザー社ワクチンの接種体制への影響に考慮し、ファイザー社ワクチンの接種を行っていない接種施設で武田/モデルナ社ワクチンの接種を行うこと。
- ・ 低温冷凍庫（-20℃）の割り当てについては、4月2日付事務連絡に基づく割り当ては中断し、改めて行うこととする。

4. 今後の予定

本調査の結果に基づき、低温冷凍庫（-20℃）を配布することとする。

本調査の結果を踏まえ、改めて調査を行う可能性があること。

各都道府県 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課予防接種室

### 武田／モデルナ社ワクチンの接種体制について

現在、ファイザー社ワクチンにより市区町村において高齢者を対象とした接種が始まっており、各自治体におかれては集団接種／個別接種を組み合わせる形で積極的に接種を進めて頂いているところです。武田／モデルナ社製新型コロナワクチン（以下「武田／モデルナ社ワクチン」という。）が承認され、その供給に当たっては管理・輸送方法等がファイザー社ワクチンと異なることから既存の接種体制への影響を最小限にし、円滑に接種を進めることが重要です。上記の趣旨を踏まえ、武田／モデルナ社ワクチンについては、

- ・ 大規模接種会場における接種
- ・ 職域における接種

を軸に、接種体制の構築を検討しています。

つきましては、武田／モデルナ社ワクチンの接種体制について、下記のとおりお知らせしますので、各都道府県におかれては、本事務連絡の内容について御了知いただくとともに、管内市区町村及び関係機関への周知をお願いいたします。

### 記

#### 1. 大規模接種会場における接種について

##### (1) 大規模接種会場の設置意向調査の結果について

令和3年5月7日付け事務連絡「武田／モデルナ社ワクチンの大規模接種会場の設置意向調査について（依頼）」（以下「5月7日付け事務連絡」という。）において、各都道府県における大規模接種会場の設置の計画・予定等を調査したところ、5月13日時点で30か所の都道府県から設置の計画・予定等がある旨の回答があった。

##### (2) 都道府県が大規模接種会場を設置する場合の位置付けについて

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種については、予防接種法（昭和23年法律第68号）により市区町村の事務とされていることから、都道府県が大規模接種会場を設置する場合であっても、予防接種法に基づく接種として、市区町村との委託契約を経て行う。都道府県は、会場の確保、医療機関との調整・協力等といった役割を果たすことになること。

武田／モデルナ社ワクチンの取扱いについては、5月7日付け事務連絡において既にお示ししたとおり、-20℃冷凍庫が設置された施設にのみ配送され、直接配送を受けた施設においてのみ接種でき、小分け移送は認められない。したがって、接種場所に-20℃冷凍庫を設置する必要があることに留意すること。

なお、大規模接種会場の設置に要する費用のうち、会場設置にかかる使用料及び賃借料、備品購入費等については、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金により補助する予定であり、詳細については別途お示しする。

### (3) 大規模接種会場を設置する場合の具体的な手続等について

#### ① 6月7日週までに設置予定のある大規模接種会場について

5月7日付け事務連絡による調査の結果を踏まえ、早期に設置予定のある旨回答のあった自治体については、個別に各自治体に御連絡しているところであり、個別の照会に御対応いただきたい。また、6月7日週までに設置予定のある自治体についても、個別に具体的な設置予定を聴取しているところであるが、基本情報登録以外の設置に当たった手続については、下記を参考にしつつ御対応いただきたい。

#### ② 必要な手続とスケジュール等について

大規模接種会場を設置する場合のワクチン配送までのスケジュールについては、基本情報の登録から最大2週間の準備期間を予定しているが、準備を確実にを行うため、可能な限り速やかに手続を開始していただきたい。例えば、6月14日(月)にワクチンの納入を受けたい場合には、以下のスケジュールで手続を進める必要があることから、期限までに必要な情報を確実に登録するよう留意すること。必要な手続とスケジュールについては参考1も参照すること。

なお、当面の間の暫定的な手続とスケジュールを記載したものであり、変更等が生じた場合には、追ってお示しする。

< 6月14日(月)にワクチン納入を受けたい場合 >

○ 5/31(月) 17:00 まで【毎週月・水・金に〆切】

- ・ 大規模接種会場に係る基本情報の登録
- ・ -20℃冷凍庫の配送先登録

※ ワクチン納入前に-20℃冷凍庫を十分に冷却することが必要であるため、ワクチン納入の前日に-20℃冷凍庫の納入を受けることを想定した場合

○ 5/31(月) 12:00 まで【毎週月 12:00〆】

- ・ 類似コードの新規付番申請の提出(6/2(水) 目途で付番結果を通知)

○ 6/3(木) 14:00 まで【毎週月 14:00〆 or 木 14:00〆】

- ・ 集合契約受付システムにて委任状の提出及び委任先での受領

→ その後V-SYSのID/パスワードの発行、V-SYSの初期設定を実施

(i) 大規模接種会場に係る基本情報の登録について

大規模接種会場を設置する予定がある場合には、別添様式1「大規模接種会場の基本情報」により、設置主体、接種会場の場所（名称、住所等）、週当たり接種規模、開始予定日、当該会場の担当者、連絡先等を、各都道府県から厚生労働省（市区町村が設置する場合には、各都道府県においてとりまとめの上、各都道府県から厚生労働省。以下同じ。）に対して提出すること。

この情報を踏まえ、ワクチン及び針・シリンジの配送等を行うため、適切に情報を記入の上、登録すること。

なお、大規模接種会場の基本情報登録については、毎週月曜日 17:00 締切、水曜日 17:00 締切、金曜日 17:00 締切で受け付けることとする。

- ・ 月曜日に登録された場合：1週間後の木曜日には $-20^{\circ}\text{C}$ 冷凍庫の納入、1週間後の金曜日～2週間後の月曜日にはワクチン納入が可能
- ・ 水曜日に登録された場合：1週間後の土曜日には $-20^{\circ}\text{C}$ 冷凍庫の納入、1週間後の日曜日～2週間後の水曜日にはワクチン納入が可能
- ・ 金曜日に登録された場合：2週間後の月曜日には $-20^{\circ}\text{C}$ 冷凍庫の納入、2週間後の火曜日～金曜日にはワクチン納入が可能

（提出先）厚生労働省健康局健康課予防接種室（[yoboseshu@mhlw.go.jp](mailto:yoboseshu@mhlw.go.jp)）

（提出時のメール件名）【自治体名】【会場略称】大規模接種会場に係る基本情報登録

なお、ワクチン接種記録システム（以下「VRS」という。）への入力に使用するタブレット端末を確保する必要があるため、内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室にも御連絡いただきたい（(vii)も参照。）。

また、この情報については、武田薬品工業並びに株式会社メディパルホールディングスの事業会社及び協力会社にも共有され、配送訓練の日程調整の連絡、各種資材の送付、ワクチン配送の準備で必要な範囲に限り参照される予定である。

(ii)  $-20^{\circ}\text{C}$ 冷凍庫の配送先登録について

大規模接種会場において、 $-20^{\circ}\text{C}$ 冷凍庫を配置する必要がある場合には、令和3年5月10日付け事務連絡「低温冷凍庫（ $-20^{\circ}\text{C}$ 対応：据置型）の大規模接種会場への設置について」で既にお示しした内容を踏まえ、別添様式2「 $-20^{\circ}\text{C}$ 冷凍庫配置先リスト（大規模接種）」により、配送先住所など必要情報を、各都道府県から厚生労働省に対して（i）と同時に登録すること。 $-20^{\circ}\text{C}$ 冷凍庫については、各市町村に割り当てており、大規模接種会場に設置するほか、令和3年5月24日付け事務連絡「武田／モデルナ社ワクチン接種の候補となる接種施設の意向調査について」で意向がある施設に設置する可能性もあるため、双方の作業で同一の冷凍庫を重複して登録することがないように留意が必要。

なお、大規模接種会場に設置する $-20^{\circ}\text{C}$ 冷凍庫の必要台数を検討するに当たっては、以下の2点に留意すること。

武田／モデルナ社ワクチンは、①10バイアルが収納されたバイアル箱、②バイアル箱が12箱1ケースに包装された箱（以下「包装箱」という。）があり、納入量の多い大規模接種会場向けには、包装箱単位で配送される。武田／モデルナ社ワクチンは再凍結が不可であることから、開梱作業中に長時間常温に晒される悪影響を鑑み、包装箱のまま冷凍庫に格納することを基本とし、開梱する場合は1包装箱ずつ冷凍庫から取り出し速やかに行うこと。また、冷凍庫の頻繁な開閉、長時間の開放による庫内温度の上昇、結露に十分留意すること。なお、包装箱単位で冷凍庫に格納する場合の、冷凍庫ごとの収納可能数は、参考2のとおり。

また、武田／モデルナ社ワクチンについては、適切な温度管理が可能であれば、国が割当てを行った-20℃冷凍庫ではなく独自に購入した冷凍庫を使用しても差し支えないが、必要数を包装箱のまま冷凍庫に格納できることを確認するとともに、下記を遵守すること。

- ・ 冷凍庫が医薬品専用であること
- ・ 日常点検で温度逸脱が起きないようにモニターされていること
- ・ 複数冷凍庫がある場合は、同一電源を使用しないこと
- ・ 停電時の対応を取ること 等

#### (iii) 類似コードの新規付番申請の提出について

ファイザー社ワクチンにおいて集合契約に加入していない医療機関や接種会場等において接種を実施する場合には、集合契約への加入等の手続きが必要となる。その場合は、令和3年3月22日付け事務連絡「保険医療機関コード等が存在しない接種施設の手続きについて」で既にお示ししたとおり、別添様式3を都道府県においてとりまとめの上、V-SYSのサービスデスクに提出すること。

その後、新規付番された類似コードを入力して委任状を作成、所属団体へ提出することにより、集合契約へ加入すること。

仮にファイザー社ワクチンで集合契約に加入している医療機関が、大規模接種会場における接種を実施する場合であっても、ファイザー社ワクチンと異なる場所において、ワクチンの納入・管理を行う場合や、ワクチンの保管管理責任者や連絡先が異なる場合には、新たに上記手続きが必要となることに留意すること。

なお、現在V-SYSに登録されている武田／モデルナ社ワクチンの基本型接種施設に係る情報については、まずは大規模接種会場における接種を実施することを踏まえ、一旦リセットするとともに、医療機関側の判断で変更できない設定にする予定であることを御了知いただきたい。

#### (iv) ワクチンの初回及び2回目の納入について

ワクチンの初回の納入については、(i)で登録された情報を元に、各大規模接種会場における接種規模の10日分のワクチンを納入するとともに、2回目以降の納入につ

いては、各大規模接種会場の接種規模の7日分のワクチンを納入することを原則とする。

ワクチンの納入先及び担当者については、別添様式1「大規模接種会場の基本情報」で登録されたワクチンの納入先及び担当者と同一とする。

なお、ワクチンの配送については、当面の間は、暫定的に地域担当卸を介さず、製造販売業者である武田薬品工業と提携している流通を担当している株式会社メディopalホールディングスの事業会社及び協力会社から配送を行う予定である。

#### (v) 配送訓練について

また、武田/モデルナ社ワクチンについては、武田薬品工業並びに株式会社メディopalホールディングスの事業会社及び協力会社による搬入経路等の確認のため、初回納入前に配送訓練（所要3時間程度）を行うことが必要であり、事前に配送訓練の日程調整やレイアウトの確認等を行うことが必要になる。

事前の配送訓練の関係で、(i)で登録された連絡先に、武田薬品工業並びに株式会社メディopalホールディングスの事業会社及び協力会社から連絡がされる予定であることを御了知いただきたい。

#### (vi) 針・シリンジの配送先等の登録について

針・シリンジの初回の納入については、ワクチンと同様、接種開始の前日以前に、各大規模接種会場における接種規模の2週間分の針・シリンジを納入するとともに、2回目の納入については、初回納品日の1週間後に、各大規模接種会場の接種規模の1週間分の針・シリンジを納入することを原則とする。その後、当面の間は1週間ごとに1週間分の針・シリンジを納入することを予定している。

針・シリンジの納入先及び担当者については、別添様式1「大規模接種会場の基本情報」で登録されたワクチンの納入先及び担当者と同一とする。

なお、針・シリンジの配送については、当面の間、暫定的な対応として、地域担当卸を介さず、国の委託先である日本通運から直接各大規模接種会場への配送を行う予定である。

#### (vii) VRSの読み取り端末について

VRSの読み取り端末の追加配備その他のVRSに関する問い合わせ事項が生じた場合には、内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室へ直接連絡すること（電話：03-3581-3484、メール：[digitalvaccine@digital.go.jp](mailto:digitalvaccine@digital.go.jp)）

#### (viii) その他の準備について

上記以外についても、必要物品の確保、人員のシフト計画の策定・訓練、予約方法の確定、接種時のオペレーションの確認等が必要となるが、各会場の設置責任者において、医療機関向け手引き等を参照しつつ適切に検討されたい。

(必要な準備の例)

- ✓ 医療法上必要な手続
- ✓ 必要物品の確保 (使い捨て手袋、体温計、消毒用アルコール綿等)
- ✓ 人員のシフト計画の策定
- ✓ 人員への取扱説明・訓練 (情報提供資材等の確認)
- ✓ 予約方法の確定
- ✓ 会場レイアウト図の作成 (導線確認等)
- ✓ アナフィラキシー等が生じた際の対応方法の確認
- ✓ 情報提供資材の準備 等

#### (4) 大規模接種会場に関連する留意事項について

##### ① 住所地外接種の取扱いについて

国又は都道府県の大規模接種会場においては、住民票所在地以外における接種も行われることになるが、住所地外接種届出済証の届出は不要である。

また、国による大規模接種センターが設置された所在地の国民健康保険団体連合会(東京都及び大阪府)においては、他府県からの被接種者が増えることによって、想定していた処理件数を大幅に超えることで、処理能力を超過する可能性がある。そのため、通常であれば接種医療機関からの請求月の翌月下旬に市町村へ請求、請求月の翌々月末までに接種医療機関に支払というスケジュールが、大規模接種センターでの接種分については、更に1か月程度遅れる場合があることに留意すること。

##### ② その他の留意事項について

武田/モデルナ社ワクチンについては、まずは大規模接種会場及び職域における接種が想定されることを踏まえ、予約受付等、接種会場の運営に係る検討に当たっては、被接種者が同じ大規模接種会場において2回の接種を完了することを想定した運営方法を検討すること。

また、被接種者が接種を受ける前に、武田/モデルナ社ワクチンに関する情報提供を確実に受け、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方を理解し、本人の意思に基づいて接種の判断をしていただくように留意すること。

#### 3. 職域における接種について

位置付けや手順等について、追ってお示しする。

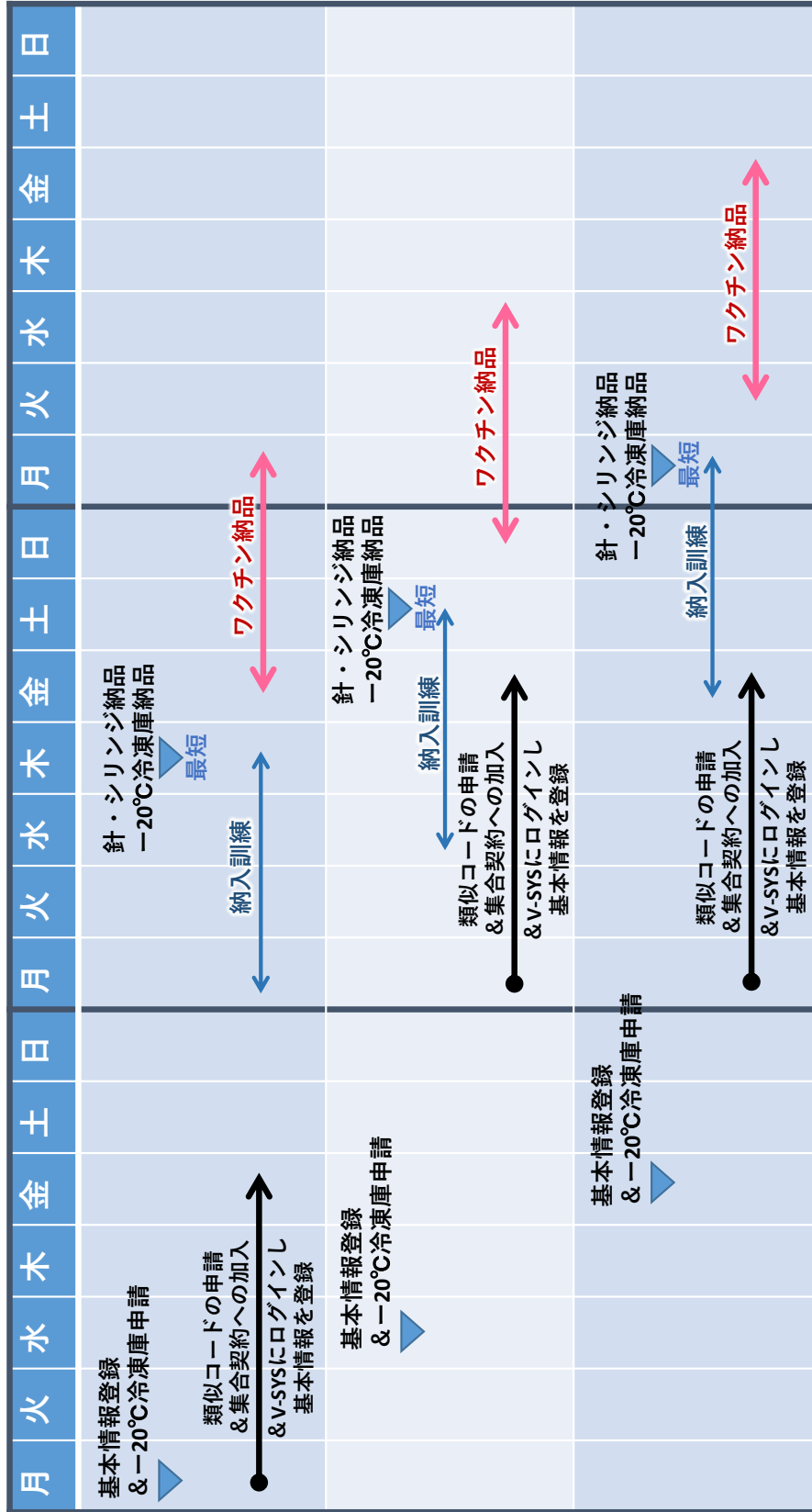
#### 4. その他の接種体制について

上記2及び3以外の接種体制については、接種の状況等を踏まえつつ、追ってお示しする予定であるが、令和3年5月24日付け事務連絡「武田/モデルナ社ワクチン接種の候補となる接種施設の意向調査について」に御協力いただきたい。

(参考1：大規模接種会場の設置時のスケジュールについて)

## 大規模接種会場の設置時のスケジュールについて

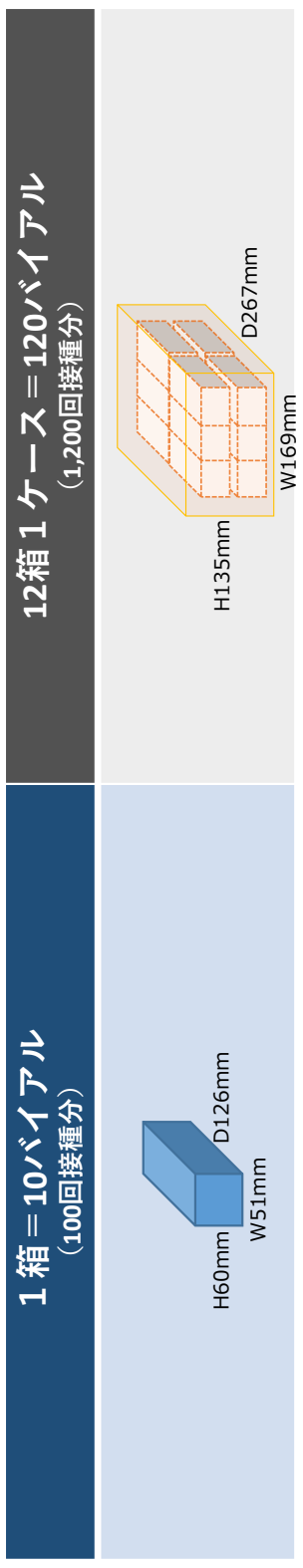
- 大規模接種会場の設置に当たって、準備に必要なスケジュールのイメージは以下のとおり。

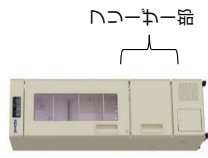







## -20℃冷凍庫の武田／モデルナ社製ワクチン収納可能数

- 武田／モデルナ社製ワクチンは、10バイアルが収納されたバイアル箱と、バイアル箱が12箱1ケースの包装箱とがあり、**納入量の多い大規模接種施設向けには、包装箱単位で配送される。**
- **本ワクチンは再凍結が不可**であることから、包装箱単位で納品された場合、**包装箱のまま冷凍庫に格納することを原則**としつつ、**開梱が必要な場合は、1包装箱ずつ冷凍庫から取り出し速やかに行うこと**。また、冷凍庫の頻繁な開閉、長時間の開放による庫内温度の上昇や結露に十分留意すること。



収納可能数		収納可能数	
PHC社	日本フリーザー	PHC社	EBAC
 <p>フリーザー部</p>		 <p>フリーザー部</p>	
<b>72箱 = 720バ<sup>ヰ</sup>ル</b>	<b>96箱 = 960バ<sup>ヰ</sup>ル</b> 引き出しの傾斜部には置かないことを考慮※	<b>2包装箱 = 240バ<sup>ヰ</sup>ル</b>	<b>90箱 = 900バ<sup>ヰ</sup>ル</b> 冷却範囲が高さ345mmまでであることを考慮 (庫内に表示あり) ※
	<b>7包装箱 = 840バ<sup>ヰ</sup>ル</b> 最下段の引き出しは取り外す必要あり。		<b>4包装箱 = 480バ<sup>ヰ</sup>ル</b>

(参考2：武田／モデルナ社ワクチンの収納可能数について)

事 務 連 絡  
令 和 3 年 5 月 24 日

各都道府県衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課予防接種室

武田／モデルナ社ワクチン接種の候補となる接種施設の意向調査について

武田／モデルナ社製の新型コロナワクチン(販売品名:COVID-19 ワクチンモデルナ筋注。以下「武田／モデルナ社ワクチン」という。)については、「武田／モデルナ社ワクチンの大規模接種会場の設置意向調査について(依頼)」(令和3年5月7日付け厚生労働省健康局健康課予防接種室事務連絡)による調査等を踏まえ、大規模接種会場での接種に用いられているところ、今後は大規模接種会場のみならず医療機関等において、住民に対する接種を実施することも考えられます。

低温冷凍庫(-20℃)については、「低温冷凍庫(-20℃対応:据置型)の割当て等について」(令和3年4月2日付け厚生労働省健康局健康課予防接種室事務連絡。以下「4月2日付け事務連絡」という。)において、各都道府県への割当て量を踏まえた配送先の登録を依頼したところですが、今般、武田／モデルナ社ワクチンが承認されたこと等(詳細は下記留意事項を参照)を踏まえ、各都道府県におかれては、改めて武田／モデルナ社ワクチン接種の候補となる接種施設について、下記調査にご協力いただきますようお願いいたします。

## 記

### 1 調査内容

- (1) 武田／モデルナ社ワクチンの接種を希望する接種施設
- (2) 接種施設の開設者
- (3) 当該医療機関が想定する接種規模
- (4) 当該医療機関が想定する接種実施期間
- (5) 低温冷凍庫(-20℃) (※)の有無

※武田／モデルナ社ワクチンについては、各施設の責任下において適切な温度管理が可能であれば、国が割当てを行った-20℃冷凍庫ではなく独自に購入した冷凍庫を使用しても差し支えないが、以下の点を遵守すること。

- ・冷凍庫が医薬品専用であること
- ・日常点検で温度逸脱が起きないようにモニターされていること

- ・複数冷凍庫がある場合は、同一電源を使用しないこと
  - ・停電時の対応を取ること
  - ・各施設の責任のもと、他の製品との取違いには十分留意すること
- (6) 低温冷凍庫（-20℃）の配付希望の有無及び希望台数

## 2 回答方法

別途送付する回答様式に記入の上、本年6月11日（金）までに厚生労働省健康局健康課予防接種室に登録すること。

武田／モデルナ社ワクチンの保管に用いる低温冷凍庫（-20℃対応：据置型）については、各市町村に割り当てているところ、住民に対する接種を実施するために医療機関等に設置する他、令和3年5月24日付け事務連絡「武田／モデルナ社ワクチンの接種体制について」のとおり大規模接種会場に設置する可能性もあることから、双方で同一の冷凍庫を重複して登録することがないように留意すること。

## 3 留意事項

- (1) 武田／モデルナ社ワクチンについては、100回接種分（10バイアル）を最小流通単位としてメーカーから接種施設に納品され、当該接種施設において全て使用することとし、納品を受けた施設から他の施設への小分け配送はできないことを前提とすること。
- (2) (1)や保管温度、接種施設への配送方法等といったファイザー社ワクチンとの特性の違いやファイザー社ワクチンの接種体制への影響に考慮し、ファイザー社ワクチンの接種を行っていない接種施設で武田／モデルナ社ワクチンの接種を行うこと。
- (3) 低温冷凍庫（-20℃）の割当てについては、4月2日付け事務連絡において配送先の登録をお願いしていたところであるが、4月2日付け事務連絡に基づく割当ては、本事務連絡をもって中断することとし、低温冷凍庫（-20℃）の配送先登録を改めて行うこととする。したがって、既に配送先の登録を行った場合についても、再度登録を行うこと。

## 4 今後の予定

- (1) 本調査の結果に基づき、所要の調整を行った上で低温冷凍庫（-20℃対応）を配布することとする。

配布時期等については追ってお知らせする。

また、調査結果等次第では、希望通り低温冷凍庫（-20℃）を配布できない可能性があるが、その場合には必要に応じて当室宛相談されたい。
- (2) 本事務連絡に基づく調査結果等を踏まえ、改めて調査を行う可能性がある

る。

## 調査目的

- 武田／モデルナワクチンの接種は、**初期は大規模接種会場及び職域**で実施する方向で準備、検討を進めているが、**今後、上記以外の接種施設で住民向け接種を実施することも想定**されることから、**接種施設候補を把握するための意向調査**を行う。

## 武田／モデルナワクチンの留意点

- 100回接種分（10バイアル）を最小流通単位**としてメーカーから納品される。
- 納品を受けた施設から他施設への**小分け配送は不可**であり、納品を受けた施設で全て使用する。
- ファイザーワクチンの接種を行っていない施設のみ**で接種可能。

## 主な調査項目

- 施設名、所在地
- 接種規模（100回接種/週 等を選択式）
- 実施時期（開始月（見込み）、終了月（見込み））
- 20℃ディープフリーザーの有無（設置の要否、台数）
- 接種施設の開設者（都道府県、市町村、その他（民間））

厚労省から都道府県に調査票を展開（5月24日）

都道府県から厚労省に結果を提出（6月11日〆切り）

調査結果のとりまとめ、施設総数、規模、時期等の確認  
⇒ 冷凍庫の配備など、次のステップに進める。